

令和８年度　東京都立砂川高等学校　通信教育実施計画

教 科	家庭	レポート通数	4	担当者	田邊さえ
科 目	家庭基礎	必要面接指導時数／実施時数	4／20	対 象	全生徒
単位数	2	試験	1回		
教科書	『家庭総合 自立・共生・創造』（東京書籍）				
学習書等	学習書 家庭総合 自立・共生・創造				
その他	なし				

○教科（　家庭　）　の目標

知識及び技能	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
思考力・判断力・表現力等	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。
学びに向かう力、人間性等	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

○科目（家庭基礎）の目標

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けるようにする。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

○　評価の方法

	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
添削課題の取組、定期試験	添削課題の取組、定期試験	締切日を守って自学自習をしているか。学んだことを家庭生活でいかしているか。スクーリング中に課題に積極的に取り組んでいるか。

※　単位の修得は、定められた通数のレポートに合格し、必要面接指導時数を満たし、学期末の定期試験を受験した上で、各観点の目標の達成状況が十分と判断されれば認められる。各観点の達成状況は上記の評価に基づいて評価する。

○年間指導計画

月	単元	単元の具体的な指導目標	教科書・学習書 該当ページ	添削 課題	提出 期限	面接指導	メディア利用 (NHK高校講座)
4・5	第1章 生涯を見通す	【知識及び技能】 人の一生について、自己と他者、社会との関わりから様々な生き方があることを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯を見通した自己の生活について考えさせ、ライフスタイルと将来の家庭生活及び職業生活について考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯の生活設計について、課題の解決に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとする力を育む。	教科書 P12～20 学習書 P9～12	第1回	前期 5/13 後期 10/14	前期 第1回　5/2 第2回　5/9 第3回　5/30 第4回　6/6 第5回　6/13 第6回　6/20 第7回　6/27 第8回　7/4 第9回　7/11 第10回　7/18 後期 第1回　10/3 第2回　10/10 第3回　10/17 第4回　10/24 第5回　11/7 第6回　11/21 第7回　11/28 第8回　12/5 第9回　12/12 第10回　12/19	なし

6	第2章 人生をつくる	【知識及び技能】 家族・家庭の機能と家族関係、家族・家庭と法律について理解させる。 家族・家庭の意義について理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 家庭や地域のよりよい生活を創造するために、男女が協力して、家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことの重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 青年期の自立と家族・家庭及び社会について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとする力を身に付けさせる。	教科書 P 22～37 学習書 P 15～28				
	第3章 子どもと共に育つ	【知識及び技能】 乳幼児期の心身の発達と生活、子供の遊びと文化、親の役割と保育、子育て支援、子供を取り巻く社会環境の変化や課題及び子供の福祉について理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 子供の健やかな発達を支えるために、子供との適切な関わり方について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 子供との関わりと保育・福祉について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとする力を育む。	教科書 P 38～63 学習書 P 29～48				
	第4章 超高齢社会を共に生きる	【知識及び技能】 高齢者を取り巻く社会環境の変化や課題、高齢期の心身の特徴、高齢者の尊厳と自立生活の支援や介護、高齢者福祉について理解を深めさせる。 高齢者の心身の状況に応じて適切に関わるための生活支援に関する技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 高齢者の自立生活を支えるために、家族や地域及び社会の果たす役割の重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 高齢期の生活と福祉について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとする力を育む。	教科書 P 64～77 学習書 P 51～65	第2回	前期 5/27 後期 10/28		
	第5章 共に生き、共に支える	【知識及び技能】 生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 家庭や地域及び社会の一員としての自覚をもって共に支え合って生活することの重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 共生社会と福祉について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとする力を育む。	教科書 P 78～84 学習書 P 67～72				

7	第 6 章 食生活をつくる	【知識及び技能】 ライフステージに応じた栄養の特徴、食品の栄養的特質、食品の調理上の性質、健康や環境に配慮した食生活について理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 食品の調理上の性質について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 食生活の科学と文化について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとする力を育む。 【知識及び技能】 食品衛生について理解を深めさせる。 自己や家族の食生活の計画・管理、目的に応じた調理に必要な技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 主体的に食生活を営むことができるよう日本の食文化の継承・創造について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 食生活の科学と文化について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとする力を育む。	教科書 P 86～135 学習書 P 75～92	第 3 回	前期 6/24 後期 11/25		
	第 7 章 衣生活をつくる	【知識及び技能】 衣生活の自立に必要な技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 持続可能な社会を目指して主体的に行動できるよう、安全で安心な生活と消費について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 衣生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとする力を育む。	教科書 P 136～165 学習書 P 95～110				
	第 8 章 住生活をつくる	【知識及び技能】 防災などの安全や環境に配慮した住居の機能、適切な住居の計画・管理に必要な技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 住居の機能性や快適性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 住生活と住環境について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとする力を育む	教科書 P 166～184 学習書 P 113～126	第 4 回	前期 7/8 後期 12/9		

	第 9 章 経済生活を営む	【知識及び技能】 消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう消費行動における意思決定、家計の構造、家計管理、生活における経済と社会との関わりについて理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 自立した消費者として、責任ある消費について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 生活における経済の計画、消費行動と意思決定について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとする力を育む。	教科書 P 186～205 学習書 P 129～150				
	第 1 0 章 持続可能な生活を営む	【知識及び技能】 生活と環境との関わり、持続可能な消費、持続可能な社会へ参画することの意義について理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 持続可能な社会を目指して主体的に行動できるよう、安全で安心な生活と消費について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 持続可能なライフスタイルと環境について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとする力を育む。	教科書 P 206～212 学習書 P 153～158				
	第 1 1 章 これからの生活を創造する	【知識及び技能】 人生の目標を達成し、自分らしい生活が実現できるよう、各ライフステージの課題や生活資源、リスク管理について振り返りながら生活設計ができるよう理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 生活資源を活用した生活設計について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 これから持続可能な社会を構築し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとする力を育む。	教科書 P 214～218 学習書 P 161～162				

令和 8 年度 東京都立砂川高等学校 通信教育実施計画

教 科	家庭	レポート通数	4	担当者	田邊さえ
科 目	保育基礎	必要面接指導時数／実施時数	4 ／ 1 4	対 象	科目選択者
単位数	2	試験	1 回		

教科書	『保育基礎』（教育図書）
学習書等	なし
その他	なし

○教科（ 家庭 ） の目標

知識及び技能	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
思考力・判断力・表現力等	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。
学びに向かう力、人間性等	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

○科目（保育基礎）の目標

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
・子どもの発達や生活の特徴、保育、福祉や文化などについての知識を体系的・系統的に身につけている。 ・子どもの発達の特性や発達過程に対応した技術を身につけている。	・子どもを取り巻く課題を見つけ、保育を担う職業人の視点から合理的かつ創造的に解決するために、思考を深め、適切な判断や工夫、表現をする力を身につけている。	・子どもの発達や保育にかかわる職業について関心をもち、地域の保育や子育て支援を通じて子どもの健やかな発達に寄与しようとする意欲的な態度を身につけている。

○ 評価の方法

	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
添削課題の取組、定期試験	添削課題の取組、定期試験	締切日を守って自学自習をしているか。学んだことを家庭生活でいかしているか。スクーリング中に課題に積極的に取り組んでいるか。

※ 単位の修得は、定められた通数のレポートに合格し、必要面接指導時数を満たし、学期末の定期試験を受験した上で、各観点の目標の達成状況が十分と判断されれば認められる。各観点の達成状況は上記の評価に基づいて評価する。

○年間指導計画

月	単元	単元の具体的な指導目標	教科書・学習書 該当ページ	添削 課題	提出 期限	面接指導	メディア利用 (NHK 高校講座)
4 ・ 5	1 章 子どもの 保育	【知識及び技能】 ・子どもの人格形成における保育の重要性を理解している。 ・保育における保護者や保育者の役割を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・子どもの保育の特徴や、保育者に求められる姿勢などについて要点をまとめることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・保育の意義について、自分自身が親や保育者になることを考えるなど、自分の人生観と結びつけて考えようという姿勢が見られる。	教科書 P6～26	第 1 回 第 2 回	5/27 6/24	前期 第 1 回 5/2 第 2 回 5/9 第 3 回 5/30 第 4 回 6/6 第 5 回 6/27 第 6 回 7/11 第 7 回 7/18 後期 第 8 回 10/10 第 9 回 10/17 第 1 0 回 10/24 第 1 1 回 11/7 第 1 2 回 11/28 第 1 3 回 12/12 第 1 4 回 12/19	なし
6 ・ 7	2 章 子どもの 発達	【知識及び技能】 ・子どもの発達の共通性・個別性について理解している。 ・子どもの発達は、身体の発育と心や身体の機能の発達が相互に関連してなされていくことを理解している。 ・子どもの心身の発達のために、保育の環境が重要であることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・月齢・年齢ごとの子どもの心身の発達の様子を理解した上で、子どもの個人差を考慮した適切なかわり方を考察し、具体的に提案することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自身が保育者になることを想像しながら、子どもの心身の発達を促し、子どもの気持ちに寄り添うにはどうかかわるべきかなど、主体的に捉えようとしている。	教科書 P28～50				

9 ・ 10.	3章 子どもの生活	【知識及び技能】 ・子どもの養護の必要性について理解し、その発達段階に応じた適切な養護や生活援助のための技術を身につけている。 ・子どもの日常生活における世話の仕方とその役割について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生活習慣を題材にした絵本を選ぶ活動などを通じ、生活習慣の習得を促すための、保育者としての具体的ななかかわり方などを考察し、工夫することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・保育施設で行われている食育活動などに関心をもち、地域での子どもの食生活にかかわる取り組みについて主体的に情報を収集しようとしている。 ・調理に関心をもち、調理実習に積極的に参加している。	教科書 P 52～96	第 3 回 第 4 回	10/28 11/25		
	4章 子どもの福祉	【知識及び技能】 ・世界・日本の児童観や子どもの福祉の変遷の歴史が、現代のさまざまな法律や制度に生かされていることを理解している。 ・児童福祉の理念と特徴、法律や制度、福祉にかかわる施設の役割について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・児童虐待や貧困など、具体的な問題を通じて子どもの福祉の必要性を考察し、自分の考えをまとめたり発表したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自身が保育者になることを想像しながら、子どもや保護者を支えることを目標にして積極的に支援策を考えようとしている。 ・保育施設と行政などが連携した子育て支援について関心をもち、自分で情報を収集しようとしている。	教科書 P 98～108				
・ 12.	5章 子どもの文化	【知識及び技能】 ・子どもの健やかな発達が遊びによってもたらされることを理解している。 ・おもちゃ作りなどの活動を通して、子どもの遊びの特徴や、保育者としての適切ななかかわり方を捉えている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・おもちゃづくりなどの活動を通して、子どもが楽しく安全に遊ぶことができるように工夫することができる。 ・現代の子どもの遊びを取り巻く現状を理解し、課題について考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・身近な地域の遊びについて関心をもち、公園などの利用状況や、遊び場を支える NPO 法人などの活動について積極的に調べようとしている。	教科書 P 110～132				